



学校だより

7月号

平成29年7月3日
横浜市立善部小学校
校長 小澤 紀子



マナーキッズ・そして宇宙へ

学校長 小澤 紀子

運動会前の暑さはどこへやら？梅雨空で蒸し暑さは感じますが、5月よりずっと涼しい気がします。先日は学校公開にたくさんご来校いただき、授業そしてスマホ・ケータイ教室をご覧いただきありがとうございます。今や低学年でもスマホを自由に操り、私たちが思っている以上に操作できます。便利なものではありますが、危険も伴うことがあることを学び、ルールをしっかりと決めて扱うことが大切であるというお話でした。学校でもルールやマナーについて、指導してまいります。

さて、6月12日（月）に「マナーキッズ体幹遊び教室」を行いました。西部域内の市立小学校20校で行われたものです。

まず、「美しい姿勢・立ち方」「美しいおじぎ・あいさつの仕方」を全校児童で学び、その後、美しい姿勢を保つための「体幹遊び」を低・中・高学年に分かれて行いました。考えてみると、美しい姿勢は体育の授業で習いましたが、美しいおじぎ、そして正しいあいさつの仕方というのはきちんと習ったことはなく、なんとなく自分のやり方でやってきたかな？と思いました。いろいろなやり方はあるのだと思いますが、今回美しいおじぎ・あいさつを改めて教えていただくことができたのは、本当によい機会でした。以前サッカー選手が試合の中で礼儀正しくおじぎをするのを、外国の選手も真似て一緒に行っていた姿を見たことがあります。美しいおじぎは見ていて気持ちよく、相手に気持ちが伝わるコミュニケーションの第一歩とも思われます。意識せずとも自然と美しいおじぎができるようになりたいものです。

そして、美しい姿勢を保つために行った「体幹遊び」。タオルを使って体操したり、動物歩きをしたり、二人組になって互いに押したり引いたり。簡単なそして楽しい遊びをしながら体幹を鍛えていくことが大事とのことでした。朝会でも授業でも、「背筋を伸ばしましょう。いい姿勢をしてください。」とよく呼びかけますが、すぐに姿勢はくずれてしまいます。意識していても長い時間ずっといい姿勢でいることは辛いものです。指導に来てくださった先生方はずっと背筋がのびたい姿勢でした。体幹を鍛えられているのがよくわかりました。

遊びを行うたびにあいさつを繰り返しました。「よろしくお願いします」「ありがとうございました」相手の目を見てしっかりあいさつしましょう。と何度も繰り返しました。遊びの前と後ですから、子どもたちも喜んで行きます。1時間の授業の前と後では、あいさつの声の大きさもおじぎの仕方も、はっきりとわかるほどよくなっていたのには驚きでした。正門で登校の子どもたちとあいさつをしています。なかなか声がでなかったり、素通りだったりすることもあります。みごとにあいさつです。この授業だけでなく、繰り返し継続してほしいと思いました。

今朝も、立ち止まり、目を見てはっきりとあいさつをし、美しいおじぎをする子が何人かいました。うれしいことです。美しいおじぎ・あいさつは財産になるはずです。「マナーキッズ調べ」を後日配付する予定です。夏休みにご家庭でも取り組んでみてください。

さて、保護者の皆様には先日お知らせいたしました。来年の本校創立40周年記念事業の一環として、人口衛星「みちびき3号機」の打上げカウントダウンに全校児童の映像で参加いたします。8月11日に打上げ予定です。インターネットで打上げの中継を行い、その中で善部小の子どもたちが5秒間登場します。「265」秒前を読み上げますので、ご覧ください。「みちびき3号機打上げライブ中継」で検索をかけていただくとご覧になれます。本日映像を撮影いたしました。

445名の声援を受けて、宇宙にとびたっていくことでしょう。

未来を担う子どもたちが、日本の宇宙プロジェクトに参加いたします。